

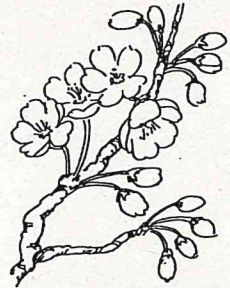
ベクトル

福島県立葵高等学校

進路だより

2020年4月17日(金)発行

第1号



いつもの年の4月なら新入生を迎えて活気づく学校だが、新型コロナウイルスの影響ですっきりしない。春の陽光の下で咲き誇る桜も、今年あまり愛でられることなく散ってしまうようで、爛漫と咲き誇り美しいだけに悲しい。こんな状態だが時間は止まらない。新年度は始まった。なんとか前向きな気持ちを持ち続けて日常を送ってほしい。

3年生 受験生になろう

いよいよ次のステージを決める一年になった。心新たに頑張ろうとする気持ちが芽生える時期だが、新型コロナウイルスの影響で高校生活全般において先が見えない状況だ。でも、全国の高校3年生がほぼ同じ状態だ。今、自分でできることを一日一日積み上げていくしかない。3年生は進路目標の達成に向けて一日も早く『受験生』になろう！**受験は団体戦**であり、**現役生は最後まで伸びる**。今春の卒業生を見ていて改めてその思いを強く持った。その前に、『受験生』になる、とはどういうことか自分なりに考えよう。そして考えたことは行動に移そう。自分で考えて行動することが大事だよ。

2年生 葵高生になろう

葵に入って一年がたった。一年前の中学生の顔から高校生の顔に変わっただろうか？新年度が始まって2週間近くになる。文理に分かれたクラス編成、学習内容の難化、部活動では早ければ6月に新体制などなど、2年生は大きな動きのある学年だ。そんな中、2年生は高校生から『葵高生』になろう！葵で充実した高校生活を送るためには、**高校生から葵高生への進化**が必要だ。その先に進路目標の実現があることは言うまでもない。『葵高生』になって、どういうこと？まずは自分なりに考えて実行してみよう。自分で考えて行動することが大事だよ。

1年生 高校生になろう

みんなの入学に合わせて、桜も祝福するかのように咲き出した今年の春。思い描いていた高校生活はと実際はどうか？一クラスの人数、通学にかかる時間、授業時間や1時間の授業のスピードや内容の濃さなど、大きな変化を感じている人が多いと思う。あまり急がずに慣れていこう。1年生は**中学生から『高校生』**になろう！中学生と高校生の違いって何か、自分なりに考えて、高校生になるために自分でできることを一つずつ実行してみよう。うまくいかなかったら、また考えて行動に移す。試行錯誤の繰り返しだ。その経験がみんなを本当の『高校生』にするよ。

先輩に学ぼう

2020年度大学入試センター試験(2020年1月実施)アンケートより

学習面でのアドバイス

- いろいろな教材とあれこれやっても身につかない。教科書のマスターがやはり大切だった。
- 塾に行かずとも、日々の授業や補習にしっかり取り組むことが大切だと実感した。
- 当たり前のことを確実にやることが大切だった。わからない英単語の意味を調べる。授業でわからなかったことを友達や先生に聞くなどの小さな積み重ねが、3年生になったときに絶対に自分のためになる。
- 理系科目は他の人に説明できるようにすることが一つの理解の指針になります。

生活面でのアドバイス

- できるだけ早く、スマホとの付き合い方を見直そう。
- ストレスや不安で自分のことはいっぱいになり、周りが見えなくなる時があると思いますが、だからといって自己中心的に考えてはいけません。身近な人や周りの人への感謝を忘れないようにしてください。
- 引退時期が遅い部活でも焦る必要はないと思います。最後までやり遂げた方が後々自信につながるのだから絶対に途中でやめないう方がよいと思います。体力も大切。
- 受験期のクラスの雰囲気は大切だった。

進路指導室にいる先生方の一言自己紹介

上野 健一 先生 (数学) 第2職員室から進路指導室へ引っ越しました！

大澤真奈美 先生 (地歴) 進路指導室はどの学年でも利用できます。気軽に話をしに来て～

矢澤 敦 先生 (理科) 「正しい努力の積み重ね」が、私たちの人生を創り出していきます。

佐藤 孝樹 先生 (英語) 初めての葵高校です。よろしくお願いします。

浦埜 好美 先生 (美術) 前任校で、就職・公務員担当でした。何かありましたらご相談ください。

滝沢 陽 先生 (理科) 坂下高校から来ました。よろしくお願いします。

星 真由美 さん (購買) 購買で待ってます。おいしいパン各種ありま～す！

よろしくお願いします！

